

囲碁で集中力アップ

黒石・美郷保育園 プロ棋士ら迎え授業

園児同士の対局にアドバイスするこんゆさんと元さん



黒石市の美郷保育園(湯瀬久美園長)は、由緒囲碁クラブ代表で、県名誉王座の古川元アマ六段(33)＝弘前市＝と、妻でプロ棋士のこんゆ二段(36)を講師に迎え、週1回の囲碁授業を始めた。園児が楽しみながら囲碁を学び、集中力などを養っている。(小林亜希子)

丁寧な指導で園児が対局も

10月27日の第2回は、古川夫妻が石の置き方や取り方などの基本を分かりやすく説明。園児は熱心に聞き入り「こんゆはどっちの陣地かな?」「逃げ道をみよ」などの質問には、元さんやこんゆさんが丁寧に手を挙げて答えた。続いて、園児同士で実際の対局に挑戦。夫妻の手ほどきを受けながら、大人顔負けの真剣な表情で次の一手を考える姿が見られた。

浅利来花ちゃん(5)は「石を並べるのが楽しかった。きょうは負けてしまったけれど、もっとやってみたい」と話した。

湯瀬園長は「子どもたちは最初の授業の翌日から、囲碁をやりたいて自分から道具を出してきた。先生の教え方が上手なので楽しく

取り組んでいるようだ」と喜び、「集中力や思考力、人の話を聞く力などを身に付けさせたい」と期待した。

こんゆ二段は「囲碁の専門用語は子どもたちには通じないので、分かりやすい言葉を使うように気をつけてい

る」、古川元アマ六段は「囲碁を知ってもらい、楽しいイメージを持つてもらえたらうれしい」と話した。